人権教育校内研修 実践例等

目的

- 教職員一人一人が人権の意義内容・重要性を理解する。
- 部落差別(同和問題)をはじめとする様々な人権問題についての基本的認識を深める。

【研修例1】

1 ウォーミングアップ

「自分の心や行動を振り返ってみましょう」【参考資料5 P3より抜粋】

- ★以下の3つの項目について、当てはまるものにチェックを付けましょう。
- 様々な人がいることに思いをめぐらし、多様性を認め合い、助け合う行動を心がけている。
- 迷信や因習にこだわったり、思い込みで決めつけたりすることなく、正しく知ろうとしている。
- 差別的な言動に同調したり、根拠のない不確かな情報を拡散したりせず、正しく判断するために確認している。

2 考えてみよう

「条例を確認してみよう」【参考資料 資料項目3】

- ★「熊本県部落差別の解消の推進に関する条例」を確認して、どの条文(条文の中の部分でも可)が心に残りましたか。線を引いてみましょう。

3 思いを共有しよう

「自分の学びを伝え合いましょう」

本日の学びを記録しておきましょう

【研修例2】

1 ウォーミングアップ

「自分の担当しているクラス等を振り返ってみましょう」

★以下の3つの項目について、当てはまるものにチェックを付けましょう。

あなたの担当している授業では、子供たちがわからないことをわからないと言えますか。

あなたの担当している授業では、間違いや失敗しても、からかわれませんか。

授業中、友達と教え合ったり助け合ったりする場面はありますか。

2 考えてみよう

「人権の重要課題にどんなものがあるか考えてみましょう」

★私たちの周りには様々な人権課題にはどんなものがありますか。知っているものをグループで出し合ってみましょう。

例:女性の人権

メモ

3 確認しよう【参考資料 資料項目1、5】

4 思いを共有しよう

「自分の学びを伝え合いましょう」

本日の学びを記録しておきましょう

【研修例3】

1 ウォーミングアップ

「自分の人権教育に関する知識を振り返ってみましょう」

★以下の項目について知っているものにチェックを付けましょう

「人権教育の推進に向けて」(教職員向け人権教育研修用リーフレット)

「熊本県の部落差別の推進に関する条例」啓発チラシ

人権教育の指導方法等の工夫・改善パンフレット「実践行動につなぐ」授業への
3つのアプローチ

2 調べよう

「資料を一つ決めて調べてみましょう」【参考資料 資料項目1、3、7】

★上記のチラシ・リーフレット等を一つ決めて、調べてみよう。

調べて分かったことを記録しておきましょう

3 思いを共有しよう

「自分の学びを伝え合いましょう」

本日の学びを記録しておきましょう